

平岡塾(アイ・エイ・プレップスクール平岡) “センス”を身につけることで 無限に広がる英語世界

大学入試で試される英語力は「暗記」によるもの、実際の社会で使えない…日本の英語教育の問題点としてよく言われる言葉だ。国際化の進んでいる現代の日本では、将来どんな道に進むにせよ、英語と無縁ではられない。では、一生使える英語、役立つ英語力とはどういうもので、どうやれば身につけられるのだろうか。「本物の英語」を教える専門塾として定評のある「平岡塾」の卒業生に話をうかがった。

論文検索やコミュニケーションで 英語力の必要性を実感

「これまでのご経歴と、現在の仕事の内容からお聞かせください。」

熊谷 中学・高校とフェリス女学院に通い、慶應義塾大学医学部に進学。医師国家試験に合格し、現在の病院に就職しました。現在初期臨床研修医として、指導医の指導の下、幅広い診療科を回りながら経験を積んでいます。

佐藤 小中高を白百合学園で学び、慶應義塾大学医学部に進学し医師免許を取得。初期臨床研修を経て、後期臨床研修医の2年目の今年、東京歯科大学市川総合病院に転向しています。外来・病棟をあわせ内科医として多くの患者さんの診療にあたっています。

「どんな医者を目指していらっしゃいますか。」

佐藤 私は「患者さんを診たい」という思いで医者になりました。ですから臨床の場で、患者さんのために自分ができることを追求したいと思っています。診療を担当するようになり、最新の治療法など英語の論文を調べる機会も多くなり、改めて英語力の必要性を感じています。

熊谷 臨床の場で経験を積む一方、研究面にも力を入れたいと思っています。何か一つでも新しい発見をし、患者さんのために役立てたい、さらに次の世代の医療の発展につなげていきたいですね。

多読・輪読・精読を通して 大量の英文に触れる

「平岡塾との出会いを教えてください。」

熊谷 友人と一緒に6月に入塾。わずか2カ月の遅れなのに、すでに英語力に差が生じており、ついていけないのだろう

今は患者さんとコミュニケーションをとるくらいしか英語に触れる機会はありませんが、今後学会に出たり、論文を発表するなど英語力を必要とする場面が増えてくるでしょう。「読む・書く・話す・聞く」の4つの要素の力をバランス良く身につけておくことが重要になると感じます。

か」と焦りを覚えましたね。

「お帰り問題(授業の終盤に課題を与え、できた人から帰れる制度)」では問題が解けず、いつも最後まで残っていました。でも先生方が丁寧にフォローしてくださったおかげで、1年の終わり頃には授業に慣れ、いつの間にか英語に自信を持てるようになりました。

慶應義塾大学 医学部卒業
慶應義塾大学 医学部内科学教室
後期臨床研修医 **佐藤 美奈子さん**



のも自由でこの『現代版寺子屋』のような雰囲気最初は驚きましたが、自由だからこそ授業に集中できるとわかりました。

や別表現など、先生方は「これだけ知ってれば大丈夫」ではなく「英語の世界はこんなに広いんだ」ということを教えようとしてくださった気がします。だからこそ先生の示される英語の世界に惹き込まれ、知識が増えていくのが楽しかったし、自分で調べることが全く苦になりませんでした。何度も読み返した塾オリジナルの不定詞のプリントは、文字の配置まで覚えていました。

塾生同士の交流が続く 人と人をつなげる場

「平岡塾の魅力は。」

佐藤 なぜ6年間通い続けられたのかと思えば、「塾に通うのが楽しい、

塾に行けば何か面白いことを学べるかも」という思いが強かったように思います。高校の授業では表層を学ぶに留まっているところを、平岡塾では細かいところまで丁寧に説明してもらえます。その繰り返しで、自然に英語の「センス」のようなものが身につけられました。医学用語など新しく調べなければならぬ部分もありますが、体になじませた「センス」が私の基礎になっていますね。

熊谷 平岡塾は宿題が多く出されることでよく知られています。でも私の場合は、宿題→塾に通うことがいつの間にか自分の生活の中に組み込まれていました。しっかりと調べをして授業に臨み、先生や仲間とやりとりするのが楽しかったんです。先生の説明に「私は違うと思う」と反論したこともありましたが、また授業の前後に講師室を訪ねて話をしたり、対等というところがあるのですが、生徒の意見にもちゃんと耳を傾け、納得がいくまで説明してください。そんなやりとりが楽しさや充実感につながっていました。

佐藤 仲間の存在も大きかったですね。高3のクリスマスに、教室にジャズを取り寄せ、パーティを開いたのを覚えています。当時の仲間とは今でも連絡を取りあっていますし、塾時代に面識がなくても「平岡塾出身」ということで親しみを感じ、付き合いが始まった友人もいます。私にとって平岡塾は、人と人をつなげる場でもあり、ホッと息つける憩いの場でもありました。

「最後に、中高生へのアドバイスをお願いします。」

佐藤 英語は楽しみながら学ぶことが一番だと思います。「誰かに言われたから」ではなく、自分の意志で積極的に取り組む。そうすれば必ず力がついてくるはずです。

熊谷 これからの時代は、どんな仕事でも英語力が不可欠になると思います。一生使える英語「基礎」となる知識をしっかりと身につける努力をして欲しいですね。



慶應義塾大学 医学部卒業
川崎市立川崎病院
初期臨床研修医 **熊谷 宜子さん**

平岡塾とは

名門中学・高校の生徒が数多く通い、東大合格率80%超(2012年度175人中159人合格)と高い実績を誇る英語専門塾。合格実績もさることながら、受験のための英語ではなく、一生使える“本物”を身につけられるとの評価が高い。実際、卒業生の多くが高い英語力を活用、各分野の第一線で活躍している。

平岡塾著の『日本の「ダメ英語」を叩きなおす』(主婦と生活社)。真剣に英語を学びたい人のためのバイブルだ。

平岡塾 / TEL:03-3463-7535 <http://www.hiraokajuku.co.jp/>